

“鮮度一番！”

No.184

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / ひとことコラム
1～3 / 運営委員会で話されたこと
3～4 / 講演会参加報告
5 / 新コーナー 「三條活人」スタート
6 / 会員募集&投稿募集のご案内 編集後記

・・・ひとことコラム・・・ 気の向くまま・・・

S. S

半年ぶりに仕入方々、個人の用と併せて、娘夫婦と一緒に東京へ出かけた。

上野は東京都美術館から出発してぐるりと、船橋のスウェーデン発祥・イケアまでしっかりと回って、楽しい一日を過ごした。

今の世の中、身体障がい者は大変優遇され、親切に対応してもらえて、嬉しい限りである。出発駅で切符を買って、車椅子を申し込むと、駅員さん付きでホームに出て、列車に乗るまで同行してもらった。終着駅では迎いの所まできちんと送り届けてくれた。ホームは混雑していたが、駅員さんが上手に通り、また、一般の人が通れない、映画やテレビで撮影された街灯ランプのある薄暗い、静かな道路、職員やスチュワーデスさんが通る所を、「車椅子の人」ということで通れた。本当に気分がよかった。その気分で、東京都美術館へ行った。車椅子を用意して駐車場も近くに置かれ、親子三人でゆっくり堪能させてもらい、感謝々々で、千葉の船橋までドライブした。

大型店イケアには、車椅子があり、自分たちの好きなペースで買い物ができ、好みの食事も二段式ワゴンに載せ、広い通路で、テーブルに運ぶ。若者たちは、各々テーブルでトランプをしたり、読書もできる。誰にも遠慮せず楽しめるコーナーになっている。我々も楽しく割安な夕食を頂いた。

こういう形で東京出張も終わった。

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成26年7月2日(水)(AM9:30～11:30)

場 所 男女共同参画センター

都議会や国会でのセクハラ野次が、やっと問題にされました。釈明会見では、ただ謝るだけではなく何がどう悪く、これからはどんなふうに変わっていかなければならないのかをもっと語って欲しかった！！だって製造業の不良品対策は、「発生・流出原因」から「発生・流出対策」まで言葉で厳し〜く書かされていますもの・・・。

次回の運営委員会は、8月6日(水)9:30～男女共同参画センターです。どなたでもおいでください。

1. にいがた女と男フェスティバル講演会(6/28)参加報告

(公)新潟県女性財団主催の講演会「女性が活躍すると、日本の経済はよくなるの～世界と日本の現状から考える～」へは、当会から3名、そして三条市の男女共同参画担当の笹川さんも出席されました。

講師大崎麻子さんは、国連で「開発」部門に関わった経験を通して「女性の仕事と家庭の両立を支援する政策こそ、今後も日本が国際経済の重要なプレーヤーであり続けるために役立つ」と話され、「ひとりひとりが持って生まれた可能性を开花させられるように女性が真に輝く社会を！」と結ばれました。参加報告が、お二人から届いていますので3・4ページをお読みください。

2. 燕三条エフエム放送(ラヂオは〜と 76,8MHz)ワイワイ女性ひろば

●本放送 毎週木曜日 11:30~12:00 ●再放送 毎週水曜日 19:30~20:00

7月のテーマ「三条の未来予想図」

- ①市町村存続危機の時代
- ②三条市の観光戦略
- ③にぎわい復活大作戦
- ④市民の底力
- ⑤三条の未来予想図

メンバー：恋塚忠男（三条市経済部営業戦略室 室長）
今井 寛（株式会社 明間印刷所 営業部）
野崎ミチコ、田辺とも子

先般、日本創生会議から発表された将来の地域社会予想図はショックでした。三条市は大丈夫か？ひとまず表には載っておらず一息ついてはみたものの、この先どうなるのか心配せずにはいられない。ということで、一市民、一主婦目線で、疑問質問、提案等々思いつくままにしゃべっています。

ゲストの今井さんは、30代子育て真っ最中ならではの視点と意見は新鮮でした。どうぞお聴きください。(田辺)

3. 各種審議会等について

7月3日(木)にネットワーク三条、7月4日(金)に第1回男女共同参画審議会が、開催されます。新しく男女共同参画審議委員となった丸山さん、いつもの自然体で生活経験をもとにした発言を期待しています。

4. 防災研修会について

上記研修会を設定するにあたり、講師、内容、日時等について話し合いました。まずは、講師の都合を聞いて11月末から12月初旬頃に、新しく出来た防災センターでの体験もやってみては…、そして研修の終了後、忘年会をやりましょう！という予定です。さて、誰が講師となるのか楽しみにお待ちください。

5.

20周年記念事業について

来年三条女性会議設立20周年にあたり、どんな事業をしようか話し合いました。女性会議の歩みは、全て広報誌“鮮度一番！”にあるし、おやこ劇場さんと共催した「ザ・ニューズペーパー」の公演も楽しかったし…。今年1年、みんなで考えていきたいと思いますので、どうぞ楽しい提案をお願い致します。

【にいがた女と男(ひととひと)フェスティバル2014 講演会参加報告】

講演会「女性が活躍すると、日本の経済はよくなるの？

～世界と日本の現状から考える～

講師 大崎麻子（関西学院大学客員教授 プラン・ジャパン理事）

田辺とも子

6月23日から29日まで開催中のフェスティバル、28日（土）は新潟ユニゾンプラザ4階大研修室においての講演会に参加しました。

「サンデーモーニングでは、30秒から1分のコメントを求められるが、今日の120分を心待ちにしていた。」と自己紹介されたシンプルで白いセーター姿の大崎さんに、のっけから引き寄せられました。

最近の安部総理は様々な場での演説に「女性の活用」を言ってるけれど、前回総理時代の安部さんはひとと言もいってない。なぜ今「女性の力」、それも国連やダボス会議など国際的な場での発言なのか。それは様々な国際的機関が女性管理職の比率を国際比較した数値や“持続的な経済成長の必須条件”とする判断材料が発表されたからである。①男性と女性に「選択肢」と「機会」が同じように保障されている社会。②男性と女性が同じように「意思決定」に参画し、「責任」を果たす社会。などとする国際社会の潮流をようやく理解（お目覚め）されたということ。また世界経済フォーラム発表のジェンダーギャップ指数（注）は調査対象136カ国中、日本は105位で前回の101位から順調に転落している。アメリカのマッキンゼーは、単なるビジネス感覚で、利益を上げている企業を調査したが、多様な管理職体系が良い結果だったと発表している。など表を示しながら話されました。安全保障や医療、都市計画、防災計画の分野においても女性（母）の視点が重要。「リケ女を増やそう！」を合言葉に国策で行っている国は確実に女子が増えているそうです。これらは持続的発展が望める社会、国際競争力のある経済とするためには大変重要ではあるが、ただ単に経済が発展すればいいということではなく、真に女性が輝く社会とは？を考えた時、女性のエンパワーメント（自分の意思で選択して生きていく力、意思決定に参画する力）が重要とし、健康で長生きでき、知識や技能を持ち、経済的に自立でき、人権が尊重され政治や社会に参加できることが必要。これは国際社会共通の認識だそうです。日本では夫婦の勤労時間における家事労働の現状は1：9であるが今後は共働きが一番理にかなっているとされ家庭における意識改革もまだまだこれからと

いう感を持ちました。最後に「日本は政治家の公約に甘い、有権者としてもっと声をあげ、説明責任を求めていきましょう」「一人ひとりが持って生まれた可能性を発揮し開花させられるようにできる社会が、女性が真に輝く社会といえるのでは」と結ばれました。会場から今回の都議会議員のセクハラ発言について質問が出され、「まず私の耳に入ったことはラッキー、マスメディアだけだったらこんなに大きく報道されなかった。今インターネット上で一男性が署名運動を始めた、怒りを持った人たちがつながった」と応えられました。

以上120分はあっという間に過ぎ、県内各地お久しぶりの友人知人に会えたことに加え、講師の痛快な話しっぷりに脳も心も栄養満タン、気分上々で帰路につきました。

(注) ジェンダーギャップ指数：各国における男女格差を測る指数。経済分野、教育分野、政治分野、保健分野のデータから作成される。(内閣府男女共同参画局総務課)

小柳早苗

6月28日、新潟女性財団主催の講演会（講師・大崎麻子さん）に参加しました。

日ごろマスコミなどの情報では知ることが少ない、国際社会で活躍されている日本女性から直接体験話を聞き、現状を知ることができ、勉強になりました。

大崎さんが海外へ赴任するときの、当地の空港での写真を拝見しました。2人の子供をおんぶにだっこで、大きいバックを担ぐ姿は、さすが日本女性のパワー全開の力強さを感じ、素晴らしい！と感動してしまいました。

大橋さんは一人生では、必ずつらいことや理不尽なことに遭遇する。そんなとき、誰かに依存せず、自身のカジ取りができて対応する力があること。現在のことだけ視野に入る近視眼的視点でなく、長い目、柔らかい視点で考える力、これこそ一番大事に必要な条件である。途切れることなく、女男平等社会へ向けて、啓蒙運動を推進し続けていきたい—講演は、2時間1回の休憩も取らず、集中的に熱く話されました。

これは余談ですが、講演が始まる少し前、私たちが会場に入るとき、女性センターの方が準備作業をされていました。講演が始まり講師を紹介された女性が準備作業をしていた方でした。時代の変化のように感じました。

久方ぶりに、活力に満ちた講演で、元気をもらい、勉強させていただきました。ありがとうございました。実感が伝わる素晴らしい内容でした。今後も多岐にわたる活躍を期待し、またお話を聞くことができるよう願っております。

「三条活人」特集caf・toujours (カフェトウジュール)

三条女性会議の皆さん始めましてこんにちは！先日、ワイワイ女性ひろばに出演させていただきましたひろしです。

三条のホットで活きな人を紹介していくコーナー「三条活人」をスタート!!

初回はパルム立体駐車場1階で2012年にオープンしたカフェトウジュールの五十嵐さん取材しました。

プロフィール

大阪に17年在住。あべの辻製菓専門学校卒業後、「パティシエ」として、洋菓子店やカフェに勤務し、非常勤講師なども務めた。

オープンに際して三条市の空き店舗補助金を活用。



owner 五十嵐美絵
(三条市井栗出身)

お店のこだわり

地産地消と旬を心がけており、出来るだけ三条産のフルーツや農作物を使ったランチやケーキを作っていきたいとのこと。7月は、農家さんから直接仕入れたミディトマトをコンポートして白ワインのジュレで合わせたデザートを提供。

ご自身が大好きな”オレンジと黄色”をお店のテーマカラーにして、年齢や性別を問わず入りやすい雰囲気のお店づくりを心がけている。

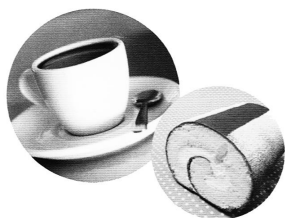
取材感想

気さくな店主さんの雰囲気が店内いたるところに見受けられ、ゆったりとくつろげる空間で取材させていただきました。

ランチセットの温野菜とパスタには、旬のものが使われており、野菜は素材本来の甘さがあり、体にやさしく感じました。

ケーキは1つずつ手作りで、見た目の美しさと味のバランスが絶妙であっという間に食べれてしまいます。

今回、急なお願いでしたが快く引き受けてもらいどうもありがとうございました。(いまいひろし)



アクセス

〒955-0063

新潟県三条市神明町9-1 パルム3 106

TEL 0256-33-1576

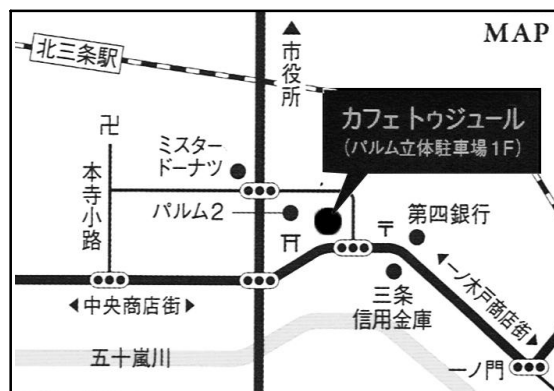
営業時間 11:00 ~ 19:00 (L.O.18:30)

金/土曜日 11:00 ~ 21:00 (L.O.20:00)

定休日 月曜

8月中旬~10月末まで産休。

再開後は徐々に通常営業へ移行



三条女性会議では随時会員を募集しています

Q. 三条女性会議って、どんな団体？

A. 女性と男性があらゆる分野で、共に参画し、支え合う社会をつくることを目的に活動している市民活動団体です。

Q. どんな活動をしているの？

A. はい、次のような活動をしています。

●燕三条エフエム放送で“ワイワイ女性ひろば”を担当

本放送 毎週木曜日 11:00～11:30 再放送 毎週水曜日 19:30～20:00

●毎月会報“鮮度一番！”の発行やホームページによる広報活動

●その他、男女共同参画社会実現に向けた活動

Q. 誰でも入れるの？

A. はい。女性だけでなく男性の会員さんも活躍しています。

年会費： ・一般会員 3千円 ・賛助会員 3千円 ・団体会員 1万円
連絡先： 野崎ミチコ Tel 32-3667 / E-mail: info@joseikaigi.net
ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>

◆会報“鮮度一番！”への投稿を募集しています

“鮮度一番”では、あなたの男女共同参画社会への気づきについての文章を募集しています。一人ひとりが体験した生活での気づきをみんなで共有できたらと願うものです。本名やイニシャルでの掲載、文字数等柔軟に対応致します。

どうぞあなたの声をお寄せ下さい。

《送り先》

- 三条女性会議 E-mail: info@joseikaigi.net
- FAX 0256-32-3679
- 〒955-0044 三条市田島 2-12-12

編集後記：

梅雨の終わりにまたあの日を思い出させる大雨でしたね。梅雨明けが待たれます。サッカーW杯が終わってしまいました。4年後、もう少し強い日本のサッカーが見れますように、七夕にお願いしました。もうひとつ、鮮度一番が、どうぞたくさんの方に読んでいただけますように！

新コーナー「三条活人」がスタート、盛りだくさんの184号です。(原)

編集発行：三条女性会議・代表野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel.32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>